

**Z C ・ 委員長
方針及び目標**

第1R第1Z ゾーン・チェアパーソン

L. 松本 卓司(仙台五城LC)

今期第1R第1Z・ゾーン・チェアパーソンを拝命いたしました仙台五城ライオンズクラブ所属のL松本卓司です。どうぞ宜しくお願い致します。まずはゾーン・チェアパーソンの役割を確認いたしましたところ「地区ガバナーの指導監督を受け、責任者としてゾーンの運営に当たるとともに、ゾーンにおける地区ガバナー諮問委員会の委員長として同委員会定例会議を開催し議長を務める」とありました。

私なりに解釈いたしますと、地区ガバナーの考えや運営方針等を的確にゾーン内各クラブへお伝えし、実行方法等を共に協議し浸透させる、又、各クラブからの要望や意見実情等を地区ガバナーへ報告する事だと考えております。

今期佐藤久一郎ガバナーは332-C地区スローガン「未来へ 共に奉仕の歩みを」332-C地区アクティビティスローガン「行動を起こそう 332-Cはワンチーム」を掲げておられます。これからの約一年間メンバーの皆様と共にこのスローガンを胸に秘めて各種活動を遂行したいと思っております。しかしその成功の為には幾多の困難もあるやに思われますが皆さんと一緒に乗り越えて行きましょう！

結びに、このミッションはライオンズメンバーおひとりおひとりのご理解とご協力なしでは達成出来ません。どうか今まで以上にお力添え頂く事を切にお願い申し上げます。

第1R第2Z ゾーン・チェアパーソン

L. 千葉 和宏(仙台杜LC)

332-C地区第1R第2Zのゾーン・チェアパーソンを拝命いたしました仙台杜ライオンズ所属L千葉和宏と申します。ライオン歴7年とまだまだ未熟なわたくしですが、皆様のお力をお借りいたしまして今期一年頑張っております。わたくしはライオンズクラブの一員として、私たちが持つ使命と責任を再確認し、これからも「ウィ・サーブ(We Serve)」の精神を胸に、一致団結して活動してまいりたいと思っております。

まずは、全てのライオンズクラブのメンバーの皆様の、日々のご尽力に心から感謝申し上げます。皆様の献身的な活動が、地域社会の発展と福祉の向上に大きく寄与していることに深い敬意を表します。

さて、今期の332-C地区スローガンは「未来へ 共に奉仕の歩みを」 332-C地区アクティビティスローガンは「行動を起こそう 332-Cはワンチーム」です。

このスローガンのもと、

1. 地区ガバナー佐藤久一郎ライオンの方針・意向、キャビネット会議で決まった内容等を各クラブへお伝えし、理解を深めていただきます。
2. クラブの例会、合同例会等に参加し、クラブの要望、問題等の解決を図ってまいります。
3. 各クラブのアクティビティを把握し参加してまいります。また、新たなアクティビティを推奨してまいります。
4. ゾーン合同アクティビティ(人的、金銭)を行いゾーンの結束を強めてまいります。

以上、所信、今期の目標といたします。

第2R第1Z ゾーン・チェアパーソン

L. 齋藤 慶治(山元LC)

入会して27年、ZCの役目を拝命しライオンズ活動の原点を再確認(必携を勉強)する一年になると思います。奉仕活動の基本は ①出来る人が ②できることを ③できるだけ ④ 楽しくすること と思います。

今、ライオンズの課題は組織としては「会員の減少と高齢化」、個人としては奉仕活動の意義と充足感の不足」ではないでしょうか。この課題は表裏一体で社会奉仕活動の在り方を、今一度、考えるときであります。

人は、ひとりでは生きられません。多くの人と出会い、助け合い、いたわり、他人の痛みを理解することが自分の人生を豊かにすると思います。

ライオンズはもっとも適した団体であり、せっかく会員になっているならひとつでも自負できる奉仕活動を持つことを勧めます。私は骨髓バンクの説明員としてドナー登録に協力し、今後は不足している説明員を増やすことを活動目的にしています。

これから一年、失敗を恐れずに「試す人」になりたいと思います。

クラブ全員の協力を得て、キャビネットとの連携を密にして佐藤ガバナーの地区運営方針の実現に向けて努めていきたいと思っております。

第2R第2Z ゾーン・チェアパーソン

L. 糠澤 誠(白石益岡LC)

2024年7月～2025年6月までの今期、第2R第2Zゾーン・チェアパーソンになります、白石益岡ライオンズクラブ所属のL糠澤誠です。

所信表明の原稿を書くのに色々考えましたが、まず佐藤久一郎ガバナーの考えを理解し、それをゾーンの各クラブに正確に伝え、ゾーン会議やクラブ訪問などでキャビネットの考えも、伝えていければと考えています。

また、各クラブでのキャビネット等に要望などがあれば、調整役にも成りたいと考えております。第2R第2Zでも高齢化等で、各クラブも人数も減少傾向ですが、蔵王ライオンズクラブは若手を入会させるべく頑張っています。

10月3日には、白石市でガバナー公式訪問も決まっています。

今年1年、キャビネット構成員として、第2Zのまとめ役として、微力では有りますが、務めさせていただきます。

最後になりますが、ガバナーはじめ、幹事・会計の皆様、ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

第3R第1Z ゾーン・チェアパーソン
L. 土見 大介(塩釜中央LC)

今年度、第3リジョン第1ゾーンのゾーン・チェアパーソンを務めさせていただきます塩釜中央LC所属の土見大介です。ライオン歴はまだ6年と若輩者であり、ゾーン・チェアパーソンという大役を務め上げられるか不安ではありますが、精一杯活動させていただきます。

第3リジョンは昨年第1ゾーンと第2ゾーンがひとつになり9クラブで活動を行っております。私自身、ゾーン毎に異なる運営方法にまだ戸惑うところもありますが、第1ゾーン所属の9クラブが一つとなり、各クラブの活動がより活発になるようゾーン運営に努めてまいりたいと思います。

私はゾーン・チェアパーソンとして、332-C地区と第3リジョン第1ゾーン所属クラブをつなぎ、佐藤ガバナーの想いを各クラブにお伝えすると共に、各クラブが抱える課題を地区へと伝え、各クラブが活動しやすい環境整備に取り組んでまいります。

また、ゾーン内の横のつながりを強化することで、知識や経験の共有を促し各クラブの持続可能な活動環境の構築を目指してまいります。

情報共有と人材交流を密にし、所属する9クラブが地域のニーズを把握し、地域のニーズに応えるべく各会員がその力を最大限に発揮し、充実した活動ができるよう努めてまいります。

今期も、多くの皆様のご支援とご協力を賜りながら、佐藤ガバナーを筆頭に地域社会に貢献する活動を一層推進してまいります。共に力を合わせて、未来へ共に奉仕の歩みを進めてまいりましょう。

一年間、よろしくお願いいたします。

第4R第1Z ゾーン・チェアパーソン兼
L. 和田 重悦(石巻河南LC)

第4R第2Z ゾーン・チェアパーソン
L. 及川 登喜男(佐沼LC)

今期、第4R第2Zゾーン・チェアパーソンに就任いたしました佐沼LCのL.及川登喜男です。

はじめに佐藤久一郎ガバナーをはじめ、キャビネット構成員、各クラブ会長、役員の皆さま、この一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、第2Zの各クラブ会長をはじめ、会員の皆さま方に於かれましては日頃よりLC活動やアクティビティにご尽力いただきまして心より感謝申し上げます。ライオンズクラブも時代と共に日々様々な奉仕やクラブ活動が多様化され、地区活動の運営にも今後一層、各クラブからのご協力が必要とされております。

この度、佐藤久一郎ガバナーから「未来へ 共に奉仕の歩みを」進めるため3つの目標が掲げられました。

- ① ライオンクラブの新しいメンバーを迎え奉仕の力を強くしよう。
- ② ライオンズの知的財産(リソース)を学び自ら成長しよう。
- ③ 私たちの奉仕活動を地域の人知ってもらおう。

この目標に向かい、各クラブ皆様との深い親交を交えながらキャビネットと各クラブの橋渡しとなるよう努めさせていただきたいと思っておりますので、4R2Zの会員皆様のご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。

第5R第1Z ゾーン・チェアパーソン
L. 菅原 清一(涌谷LC)

地区ガバナー及び涌谷LCの承認を頂き、今期5R1ZのZCに就任いたしました。

MD332のZCセミナー(Zoom)、地区の次期ZC講習会を経てZCに就いた次第ですが、先ずはZCとしての心得は、佐藤久一郎ガバナーの今期スローガン「未来へ 共に奉仕の歩みを」、アクティビティスローガン「行動を起こそう 332-Cはワンチーム」をZ内クラブに共感して頂くことです。

各クラブの現況はコロナ禍による後遺症ともいえる様相にあるようです。通常アクティビティに置いては停滞気味に置かれています。クラブ運営面では積極交流が縮小している様に感じられます。

時を得たように、ライオンズのモットー「We Serve(我々は奉仕する)」に還り地区スローガンは先ず「アクティビティ」を呼びかけました。これはクラブの活性化につながるものと思います。さて、5Rに於いて2つの課題が引き継がれました。

- (1) 第二副地区ガバナー選任の件
- (2) 5R内Zの編成替えの件

いずれもR内で討議決定するものではないと認識していますが、地区の要請に答えられるようZ内の意見要望の取りまとめを図ります。

この件は、地区の専任に関するものだと思っておりますのでご指導お願いします。

今期ZCとしてライオンズの誓い「相互理解の精神」を旨とした協議の場として参ります。

第5R第2Z ゾーン・チェアパーソン
L. 小野寺 健太郎(栗原若柳LC)

第71回地区年次大会委員長
L. 星 喜美男(南三陸志津川LC)

GLT委員会 委員長
L. 田邊 英士(石巻LC)

本年度GLT委員会 委員長を拝命しました石巻ライオンズクラブ所属L.田邊英士と申します。

昨年初めてGLT委員会に所属し、本年度GLT委員長を拝命することになったのはまさに青天の霹靂でした。私には荷の重い役目と充分承知しておりますが、皆様の協力を得て、なんとか一年間努めてまいりたいと思います。

就任に当たり、グローバル指導力育成チーム(GLT)には、ライオンズクラブにおける、あらゆるレベルの会員の指導力育成を支援し、強化する上で果たすべき役割があるとの引継ぎを頂きました。どのように実現していくか、そもそも実現できるのか、すべて手探り状態ではありますが、332-C地区の本年度のガバナー Sloan『未来へ 共に奉仕の歩みを』及びアクティビティ Sloan『行動を起こそう 332-Cはワンチーム』を支えに、GLT委員会として、佐藤ガバナーを支えるべく、委員会として活動してまいります。

また、地区方針において四つの研修を開催するとの方針をいただいておりますので、つつがなく開催できるよう、GLT委員会の皆さまにご理解・ご協力を頂きながら、委員会として努めて参ります。

ただGLT委員会が開催する研修は皆様に参加していただき、初めて意味があるものです。皆様に参加して良かったと思えるような研修を提供できるよう努めて参ります。皆様の各種研修へのご参加を心からお待ちしております。

皆さま、一年間、ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

GMT/GET委員会 委員長
L. 加藤 正純(亶理LC)

亶理LC所属のL加藤正純と申します。2018年に賛助会員として入会し、正会員になってまだ4年とライオン歴のまだまだ短い若輩者です。昨年度、新木前委員長の下で初めてGMT委員を経験させていただき、今期はGMT委員長という大役を仰せつかりました。

GMT委員会は、各クラブがより良い奉仕活動を行うために、会員拡大のお手伝いをするのが役割です。クラブごとに様々状況があり、会員拡大が非常に困難なクラブも少なくないと思います。ですので、国際協会が推奨しているGMA(グローバル・メンバーシップ・アプローチ)を活用しながら、各クラブの皆さんと、それぞれのクラブの状況を分析し、会員拡大の方法を一緒に探して参ります。

半年前の能登半島地震ははまだ復興が道半ばです。首都直下型地震や南海トラフ地震など、今後想定されている災害もあり、各地域で必要とされる奉仕活動を今後も末永く提供できる奉仕団体であるために、今期の目標として「1つの新クラブ結成」と「新入会員 100名」という命題を佐藤久一郎ガバナーより与えられております。

簡単な数字ではないかもしれませんが、クラブ例会訪問カードの活用や、市町村別人口比会員数のデータなど、昨年度のGMT委員会の取組みを引き継ぎ、アップデートし、他の委員会と横の連携を図り、委員会と執行部の皆様と力を合わせ、クラブの垣根を超え、情熱的で活気のあるクラブ運営のお手伝いをさせていただきます。至らぬ点多々あると思

いますが、1年間精一杯務めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

FWT委員会 委員長 兼
3バンク委員会 委員長
L. 伊藤 清彦(石巻めぐみ野LC)

【FWT委員会】

前期より継続委員長として、スタートさせて頂きました。

今期からは特に女性と家族会員を増やす為の活動を主に行います。

また、委員会で取り組んできた、小児がん支援については、3バンク委員会と連携し、取組んで参ります。

今期も、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

第1回FWT委員会 7月8日(月) Zoom 併用にて開会

【3バンク委員会】

3バンク委員会では、腎バンク、アイバンク、骨髄バンクを積極的に支援する体制づくりをして参ります。

昨年度、実施しました、3バンク周知セミナーの開催も検討して参ります。実施の折は、ご参加頂けます様、広く周知をお願い致します。

小児がん支援については、FWT委員会と連携し、取組んで参ります。

ご理解とご協力を賜ります様、よろしくお願い致します。

GST委員会 委員長
L. 大橋 貴利(塩釜中央LC)

今期GST委員長を拝命致しました、塩釜中央ライオンズクラブ所属L.大橋貴利と申します。今期GST委員会は、前期委員会及び委員長の活動や目標を継承しつつ、今回招請されました委員の皆様と新しいアクティビティの策定などを行い、楽しく活動をして参りたいと思っております。

332-Cはワンチームの地区スローガンにあるように様々な支援活動を幅広く提供出来ます様に、佐藤久一郎ガバナーの元、委員会の枠を超えお互いに協力体制を整え、共に奉仕を未来に繋げて行けるように出来ればと思います。

GST委員会のアクティビティ活動は他の委員会同様、332-C地区全体におけるライオンの皆様のご理解やご支援がなければ成り立たないアクティビティが1年を通じてございます、まだまだ経験の浅い私ではありますがこの委員会の活動を通じて、沢山の皆様に喜んで頂ける様な地域奉仕アクティビティを作っていければと思っております。どうぞ1年間お力添えの程、何卒よろしくお願い申し上げます。

国際大会参加委員会 委員長
L. 洞口勝則（名取LC）

今年度、国際関係、YCE、レオ、国際大会参関連の役職を拝命いたしました、名取LC所属のL.洞口勝則と申します。一年間宜しく願いいたします。

さて、コロナ禍で停滞していた、ライオンズ活動も本格的に始動しております。

YCEにおいては、2021年のサマーキャンプの中止以来、3年ぶりに7月30日から3日間の予定で、332-B地区（岩手北上）で開催される運びとなっています。また、来期は、当332-C地区がMDのサマーキャンプ開催地として内定しています。この一年を準備期間としZCはじめ、ライオン各位の御協力を仰ぐこととなります。何卒宜しく願い申し上げます。

さらに、今年秋のオセアルフォーラム、来年の第107回メキシコシティ国際大会も迫ってまいりました。国際的なライオンのふれあいの場として、多くのライオンの参加を祈念いたします。

繰り返しになりますが、オールC地区の御協力を何卒宜しく願いいたします。

広報委員会 委員長
L. 大友 浩一（仙台青雲LC）

この度は広報委員長を任命いただきました、仙台青雲ライオンズクラブ所属、L 大友浩一と申します。昨年度、倉林前委員長のもと副委員長として学んだ経験を活かし、広報活動により拡がりを出せるよう、会の貢献に努めて参ります。

広報委員会の目的は、332-C地区の活動全般の広報にあります。ライオンの皆様がクラブの精神であるボランティアを通じた地域貢献にあること、私たちの活動をライオンズの中だけではなく、より多くの方へ届けられるよう、方法も模索していきたいと考えております。地域の皆様にとって価値あるものとなるよう、委員会一丸となって取り組んでまいります。また、IT委員会との連携や、既存の活動のさらなる充実を図ることで、会員の皆様の熱意と才能を最大限に発揮できる環境を整えたいと考えております。

皆様のご支援とご協力を賜りながら、ライオンズクラブの理念に則り、誠心誠意をもって職務を全うする所存です。今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

国際関係・YCE・レオ委員会 委員長
L. 大木 俊則（仙台いわきりLC）

この度、国際関係・YCE・レオ委員会 委員長を拝命いたしました、仙台いわきりLC所属のL大木俊則と申します。昨年度は副委員長として皆様に挨拶させていただきました。2019-20年度にGST・国際関係・YCE・レオ委員会 委員長をさせて頂きましたのでこの度2回目の拝命になります。今までの経験を活かし佐藤久一郎ガバナーのもとキャビネットの

皆様、そして、GSTコーディネーターのアドバイスを頂きながら委員長としての責務を全うしていく所存ですので今年度一年間どうぞよろしくお願いいたします。

現在レオクラブは、仙台青葉LCがスポンサーの宮城学院女子大学さくらレオクラブ、東北学院大学つばさレオクラブがあり、各レオクラブの特徴を生かした活動計画に沿って色々なアクティビティを展開しています。委員会では、レオクラブ相互の交流、活動報告、そして、各クラブからのアクティビティのレオクラブ参加要請に対しての調整を行っていきます。また、新しいレオクラブ設立の相談窓口になっていきたいと考えています。

2020年からコロナ禍で中止になっていたサマーキャンプが今期から開催されるようになりました。YCEの目的に沿った、サマーキャンプでの来日生とレオクラブとの交流など、盛りだくさんの内容を一つひとつ確実に実施して参ります。「ライオンズYCEプログラムの成功は、すべての関係者が効果的にコミュニケーションを取り合うことで達成される。」この言葉を肝に銘じて忘れることなく精進していきますので、どうぞ今後ともご支援ご協力よろしくお願いいたします。

IT推進委員会 委員長

L. 須賀 秀勝(仙台シティLC)

今期、IT推進委員会の委員長にご指名頂きました、仙台シティライオンズクラブの須賀秀勝です。佐藤久一郎ガバナーの元、1年間IT改革を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。IT関連としまして、国際協会ではLion Portalが始まりました。地区ではホームページの改良と、LINEやフェイスブックを活用した連絡網の構築や、前期に地区で作成したLタウンの子ども食堂への普及などたくさんの事業を受け持ちます。会員の皆様にご協力をお願いすることがあると思いますが、委員会メンバー一同、頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

LCIF・合同アクティビティ基金管理委員会

委員長

L. 内田 洋一(岩沼LC)

今年度332-C地区LCIF・合同アクティビティ基金管理委員長を拝命いたしました、岩沼LC所属L内田洋一です。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

昨年に引き続き委員長を務めることとなりますが、昨年の活動の中で感じた全世界レベルでのLCIF(ライオンズクラブ国際財団)の存在価値の大きさや地域の社会貢献にインパクトを与える地区合同アクティビティ基金大切さを訴えつつ、目標達成に向け、クラブとの連携に努めていきたいと思っております。

以上をふまえ下記項目を一年間の行動の指針に位置付けてまいります。

- ① LCIF・合同アクティビティ基金の目的についてのPR活動の実施
- ② 地区ガバナー寄付額目標の周知
- ③ LCIF各種交付金獲得のためのPR活動の実施

- ④ LCIF・合同アクティビティ基金への寄付(ドネーション)促進への環境づくり
- ⑤ 寄付獲得イベント・キャンペーンの実施

地区内メンバーの皆様、どうぞご協力よろしくお願ひいたします

ALERT委員会 委員長
L. 伊藤 俊(女川LC)

昨年に引き続き2024～25年度アラート委員会の委員長を拝命させていただきました女川LC所属L.伊藤 俊です。改めてよろしくお願ひいたします。

ライオンズクラブのアラート委員会の基本はレスキューを行うのではなく、来るべき災害のために事前に各自・各クラブができる範囲の準備(備蓄等)を確実にし、全国または全世界で発生した災害時に迅速に後方支援を行うことだと理解しています。

2年目の今期は、全国で頻発する大規模地震災害や大雨・洪水災害に対し、ライオンズクラブとして被災者および被災地域にどんな支援ができるのかを取りまとめ、迅速な支援をするためにアラート連絡員の選出や事前の備蓄品の準備や備蓄方法、さらには募金活動を迅速に実施するためのルール化を図っていくことを目標として考えております。

この目標を達成するためには、単年度単年度での活動ではなく複数年に渡る継続的な活動と皆さんの理解と協力が必要となりますので、委員会のメンバーが変わっても毎年同じような活動ができるような体制を構築していきたいと考えておりますので、皆様のご協力・ご支援を重ねてお願ひいたします。

青少年健全育成委員会 委員長
L. 佐藤 わか子(仙台青葉LC)

今期よりライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会の名称が、青少年健全育成委員会に変わりました。名称は変わりましたが事業内容はそのまま、ライオンズクエスト事業と薬物乱用防止事業を継続していくこととなります。ライオンズクエスト事業としてはライオンズクエストLCIF交付金を活用したライフスキル教育ワークショップを9月15～16日に開催することが決定しているため、委員会としては、このワークショップの成功に向けて、各方面への周知の徹底をはかり、より多くの受講者の獲得に努めてまいります。またワークショップの他に不登校児童生徒の保護者やフリースクール関係者を対象とした小規模なセミナーも取り入れる予定です。

薬物乱用防止事業としては継続事業の「薬物乱用防止教育認定講師養成講座」が11月に実施される予定になっているため、早い段階で各クラブに周知を図り、講座への出席率を上げていきたいと考えています。ただ多くのライオンに認定講師になってもらっても、現在は認定講師の活躍の場が少ない状況にあります。今期の目標として各地域の教育委員会に薬物乱用防止講座を小学校の高学年や中学校で実施していただくように働きかけをして、認定講師の活躍場を広げていきたいと考えています。

名称が青少年健全育成に変わりました。ライオンズクエスト、薬物乱用防止事業を継続し

ながらも、地域の子ども、若者の支援に繋がるような新たな活動にも取り組んでいきたいと考えております。委員会メンバー全員が心を合わせて、風通しの良い活発な委員会になりますよう、一年間、全力で取り組ませていただきます。皆様のご指導ご鞭撻を心よりお願い申し上げます、委員長としての所信とさせていただきます。

「委員会事業・予定」

- ・7月9日(火) 第1回委員会
- ・9月15日(日)～16日(月) ライフスキル教育ワークショップ
- ・11月17日(日) 薬物乱用防止教育認定講師養成講座
- ・12月か1月 ライフスキル教育の小規模セミナー
- ・薬物乱用防止教育認定講師の勉強会

眼鏡リサイクルセンター運営委員会 委員長
L. 木川田 明弘(仙台大砂LC)

2017年に設立されたライオンズクラブ国際協会332-C地区眼鏡リサイクルセンターを効率的に運営し、ライオンズクラブ国際協会の重点項目のひとつである視力保護活動を更に発展させることを目標とします。全国のライオンズクラブからのリサイクル眼鏡の寄贈を増やし、協力眼鏡店の増加も目指します。眼鏡リサイクルセンターの運営では、就労支援事業所の利用者の眼鏡処理能力の向上を目指します。また、奉仕用眼鏡の送付先の開拓に努めます。これらにより、センターの運営を継続し発展させ、ライオンズクラブ国際協会の掲げる視力保護活動への責務を果たすことを目標といたします。

【ライオンズクラブ国際協会 332-C地区・眼鏡リサイクルセンターの概要】

332-C地区眼鏡リサイクルセンターは、不要となった眼鏡を回収して再利用化し、発展途上国において視力保護のために医療的奉仕活動を行っている病院や団体に、屈折矯正用のリサイクル眼鏡として寄贈することを目的に活動しています。当センターは、地区内の障がい者就労支援事業所と連携し、再利用化の作業を「障がい者の福祉的就労」として依頼しています。国内各地のライオンズクラブにより回収された中古眼鏡は、「障がい者就労支援事業所」に作業労賃と共に委託されます(現行は眼鏡1個につき50円)。中古眼鏡を再利用化するための作業が、有益な就労支援となっております。寄贈された眼鏡は、丁寧に洗浄され、屈折度の計測が行われ、検査結果が外から読めるようにパッケージされます。この過程を経てリサイクル用に仕上がった眼鏡は、センターから世界各国の受益者に発送されています。